



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年2月12日

上場会社名 株式会社マツオカコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 3611 URL <https://www.matuoka.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 松岡典之  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 金子浩幸 (TEL) 084-973-5188  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	54,286	2.7	1,363	98.2	3,794	4.4	2,030	△3.3
2025年3月期第3四半期	52,844	17.9	687	△23.2	3,634	13.4	2,099	9.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3百万円(△99.8%) 2025年3月期第3四半期 1,875百万円(△66.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	194.39	179.79
2025年3月期第3四半期	210.09	180.23

(注) 第1回無担保転換社債型新株予約権付社債(発行残高7億5千万円)には希薄化を可能な限り抑制することを目的として取得条項(現金決済条項)が設定されているものの、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は株式に転換される可能性がある最大の株式数で計算しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	74,379	39,873	49.1
2025年3月期	72,453	40,529	51.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 36,509百万円 2025年3月期 37,556百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	90.00	90.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	4.8	2,500	476.2	4,700	11.9	3,000	15.4	287.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	10,561,600株	2025年3月期	10,532,600株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	95,162株	2025年3月期	95,162株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	10,445,743株	2025年3月期3Q	9,991,814株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では通商政策の動向や関税措置に対する不透明感が続くなか、インフレ圧力の継続により個人消費や企業活動に慎重な動きがみられました。中国では、不動産市況の調整や固定資産投資の鈍さを背景に内需が伸び悩み状況が続き、企業活動にも慎重さがみられ、景気の先行きについては不透明感が残っております。

わが国経済においては、雇用・所得環境の改善が続く一方で、物価上昇や円安の長期化に伴うコスト負担の増加が企業活動の下押し要因となっており、個人消費にも慎重な動きがみられました。また、通商政策や地政学リスクの影響もあり、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループにおける縫製事業では、堅調な受注状況を背景に、ベトナム・バングラデシュを中心とした新工場における生産キャパシティの拡大を進めるとともに、ASEAN諸国等への生産地シフトを推進し、安定した生産体制の構築に努めております。一方で、ラミネーションフィルム事業では、前期の業績伸長に大きく寄与したヒット商品向け素材供給の反動や、一部の顧客における在庫調整の影響から受注が伸び悩みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は542億86百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は13億63百万円（同98.2%増）、経常利益は37億94百万円（同4.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億30百万円（同3.3%減）となりました。

また、当社グループの本業における実力値を判断するために算出した、当社の独自指標である為替差損益調整後営業利益は、35億87百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

当社グループの収支構造は、為替変動によって海外子会社損益計算書の製造原価及び販売費及び一般管理費の円換算額が変動します。また、一方で取引先との個別契約等による為替変動リスクヘッジの効果は、日常的な営業取引決済等から発生する為替差損益として、損益計算書において営業外損益に計上されます。これらの為替差損益は当社の営業取引（本業）から生じると考え、営業取引から発生した為替差損益を調整した事業損益を算定し「為替差損益調整後営業利益」として開示しております。

計算式： 為替差損益調整後営業利益 = 営業利益 + 営業取引から発生した為替差損益

注： 為替差損益の分類方法は以下の通りです。

営業取引から発生した為替差損益： 売掛金及び買掛金から生じる決済差額及び換算差額、並びに為替レート差に起因する連結相殺差額

財務取引から発生した為替差損益： 現預金、貸付金及び借入金から生じる決済差額及び換算差額

(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期 連結累計期間	2026年3月期 第3四半期 連結累計期間	増減	増減率
売上高	52,844	54,286	1,442	2.7%
営業利益	687	1,363	675	98.2%
為替差損益	2,879	2,467	△412	△14.3%
うち営業取引から発生したもの	2,501	2,223	△278	△11.1%
うち財務取引から発生したもの	378	243	△134	△35.5%
為替差損益調整後営業利益	3,189	3,587	397	12.5%
経常利益	3,634	3,794	159	4.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,099	2,030	△68	△3.3%

なお、当社グループはこれまでアパレルOEM事業のみの単一セグメントであったことから、セグメント情報の開示を省略しておりましたが、今期より経営管理区分の見直しに伴い、報告セグメントを「縫製事業」および「ラミネーションフィルム事業」に区分して開示しております。

報告セグメントの事業内容は、次のとおりであります。

(縫製事業)

縫製事業では、メンズ・レディースのカジュアルウェア、インナーウェア、制服・作業服などのワーキングウェアに至るまで、幅広いアパレル製品のOEM生産を手がけております。長年にわたり培ってきた高い技術力と品質管理体制を強みに、国内外の有カブランドからの受注に対応し、企画・製造・物流まで一貫したサービスを提供しております。現在、海外5ヶ国（中国・ベトナム・バングラデシュ・ミャンマー・インドネシア）に自社工場を展開しており、お客様の多様なニーズに柔軟かつ安定的に応えられる生産体制の構築に努めております。

(ラミネーションフィルム事業)

ラミネーションフィルム事業では、主にアパレル用品向けの機能性素材の加工を行っており、透湿・防水・耐久性などの機能を備えたフィルムの開発及び製造を通じて、製品の機能性向上に取り組んでいます。スポーツウェアやアウトドア製品、ユニフォームなど、特定の用途に応じた素材加工を行っており、中国およびベトナムの自社工場において安定した生産体制を構築し、事業を展開しております。

報告セグメントの経営成績は、次のとおりであります。セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。なお、前期数値については、変更後の報告セグメントの区分に基づいております。

(縫製事業)

当第3四半期連結累計期間においては、猛暑の影響によるファン付きウェアの需要増加を背景にワーキングウェアの受注が増加したほか、バングラデシュ工場における生産体制の拡充によりインナーウェアの受注も伸びました。これらの結果、販売枚数は前年同期比21.4%増の4,488万枚となり、堅調な受注を背景に事業拡大が進みました。受注増に伴い工場稼働率が高まり、生産性の向上にも寄与したことで粗利益率も向上いたしました。

以上の結果、縫製事業の売上高は477億63百万円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益は42億23百万円（同44.0%増）となりました。

また、当社の独自指標である為替差損益調整後営業利益は、縫製事業において39億86百万円（同57.7%増）となりました。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期 連結累計期間	2026年3月期 第3四半期 連結累計期間	増減	増減率
売上高	43,663	47,763	4,100	9.4%
セグメント利益（経常利益）	2,933	4,223	1,290	44.0%
為替差損益調整後営業利益	2,528	3,986	1,458	57.7%

(ラミネーションフィルム事業)

当第3四半期連結累計期間においては、前期はヒット商品向けの素材供給が業績の伸長に大きく寄与しましたが、今期はその需要が一巡したことで業績は通常水準へと戻りました。このヒット商品の剥落が、今期の業績に影響を及ぼした主要因となりました。加えて、中国経済および個人消費の低迷が続く中、前期に市場へ広く浸透したヒット商品の買い替え需要が発生しにくい状況となりました。また、一部の顧客における在庫調整に伴い、発注数量やタイミングが変動したことも影響し、販売ヤード数は前年同期比22.8%減の1,116万ヤードとなりました。需要の弱含みが続く中で価格競争も一段と激しくなり、市況は厳しい状況が続いています。

以上の結果、ラミネーションフィルム事業の売上高は65億22百万円（前年同期比28.9%減）、セグメント利益は4億46百万円（同67.7%減）となりました。

また、当社の独自指標である為替差損益調整後営業利益は、ラミネーションフィルム事業において4億99百万円（同63.7%減）となりました。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期 連結累計期間	2026年3月期 第3四半期 連結累計期間	増減	増減率
売上高	9,180	6,522	△2,657	△28.9%
セグメント利益(経常利益)	1,381	446	△934	△67.7%
為替差損益調整後営業利益	1,375	499	△876	△63.7%

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて19億25百万円増加し、743億79百万円となりました。主な要因としては、有形固定資産の減少11億35百万円、現金及び預金の減少10億90百万円等があったものの、棚卸資産の増加34億53百万円等があったことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて25億81百万円増加し、345億5百万円となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金の増加21億22百万円、短期借入金の増加4億6百万円等があったことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ6億55百万円減少し、398億73百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加20億30百万円、非支配株主持分の増加3億91百万円等があったものの、配当金の支払9億39百万円、為替換算調整勘定の減少21億47百万円等があったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,151	19,061
受取手形及び売掛金	9,896	9,601
電子記録債権	1,503	2,136
商品及び製品	4,458	5,801
仕掛品	6,062	7,913
原材料及び貯蔵品	3,669	3,928
その他	1,982	2,338
貸倒引当金	△9	△5
流動資産合計	47,715	50,773
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,840	13,333
その他（純額）	7,021	6,393
有形固定資産合計	20,861	19,726
無形固定資産		
その他	2,708	2,588
無形固定資産合計	2,708	2,588
投資その他の資産		
その他	2,190	2,023
貸倒引当金	△1,022	△732
投資その他の資産合計	1,168	1,290
固定資産合計	24,738	23,605
資産合計	72,453	74,379

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,746	10,869
電子記録債務	917	998
短期借入金	8,465	8,871
1年内返済予定の長期借入金	1,010	941
未払法人税等	539	658
賞与引当金	813	659
その他	2,171	2,360
流動負債合計	22,664	25,358
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	750	750
長期借入金	5,518	5,453
退職給付に係る負債	547	589
資産除去債務	1,269	1,235
その他	1,173	1,118
固定負債合計	9,259	9,147
負債合計	31,924	34,505
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	603	617
資本剰余金	2,277	2,160
利益剰余金	26,615	27,706
自己株式	△246	△246
株主資本合計	29,249	30,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	120
繰延ヘッジ損益	18	28
為替換算調整勘定	8,409	6,262
退職給付に係る調整累計額	△158	△140
その他の包括利益累計額合計	8,307	6,271
非支配株主持分	2,973	3,364
純資産合計	40,529	39,873
負債純資産合計	72,453	74,379

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	52,844	54,286
売上原価	47,629	48,151
売上総利益	5,214	6,135
販売費及び一般管理費	4,526	4,771
営業利益	687	1,363
営業外収益		
受取利息及び配当金	99	118
為替差益	2,879	2,467
補助金収入	114	87
その他	205	165
営業外収益合計	3,298	2,838
営業外費用		
支払利息	149	218
債権売却損	70	61
持分法による投資損失	29	0
撤去費用	47	—
その他	54	127
営業外費用合計	351	407
経常利益	3,634	3,794
減損損失	—	200
投資有価証券売却損	—	61
特別損失合計	—	261
税金等調整前四半期純利益	3,634	3,532
法人税等	1,540	1,326
四半期純利益	2,093	2,206
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	175
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,099	2,030

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,093	2,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	83
繰延ヘッジ損益	11	10
為替換算調整勘定	△244	△2,322
退職給付に係る調整額	4	27
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△218	△2,202
四半期包括利益	1,875	3
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,872	△5
非支配株主に係る四半期包括利益	2	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (セグメント情報等の注記)

当社グループはこれまでアパレルOEM事業のみの単一セグメントであったことから、セグメント情報の開示を省略していましたが、第1四半期会計期間より経営管理区分の見直しに伴い、報告セグメントを「縫製事業」および「ラミネーションフィルム事業」に区分して開示しております。

なお、前期のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	縫製事業	ラミネー ション フィルム 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,663	9,180	52,844	—	52,844
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	43,663	9,180	52,844	—	52,844
セグメント利益又は損失(△)	2,933	1,381	4,314	△680	3,634

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△680百万円は、各報告セグメントに配分していない当社管理部門の販売費及び一般管理費△714百万円、為替差益154百万円及びその他の営業外損益△120百万円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	縫製事業	ラミネー ション フィルム 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	47,763	6,522	54,286	—	54,286
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	47,763	6,522	54,286	—	54,286
セグメント利益又は損失(△)	4,223	446	4,670	△876	3,794

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△876百万円は、各報告セグメントに配分していない当社管理部門の販売費及び一般管理費△899百万円、為替差益115百万円及びその他の営業外損益△92百万円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,451百万円	1,397百万円
のれんの償却額	3 "	3 "